

# 平成 24 年(第 39 期)事業報告

## 1. 事業の実施状況

(社会・経済情勢等)

わが国を襲った未曾有の災害である東日本大震災の発生から1年が経ち、社会・経済とも重く低調なスタートを切った。徐々に被災地域の復興等が本格始動していく中で、財源確保等にも向けて6月11日には消費税増税法案が可決された。これにより2014年4月から8%、2015年10月に10%に引き上げられることとなった。

一方、7月末からロンドンオリンピックが開幕した。世界的スポーツの祭典における日本人選手の活躍は、明るい機運ももたらしつつあった。しかし、中国、韓国との領土に係る諸課題が提起されていく中で、反日活動は活発・暴徒化し、国内企業にとって新たなリスクとして今後の活動に大きな影を落とした。こうした下、衆議院議員総選挙が行われ、自民党が政権与党に再び咲き、安倍内閣が誕生することとなった。

(食品・鯉節業界等の諸動向)

福島原発による放射能拡散の影響は、地域のみならず食品業界に大きな混乱をもたらした。国として新たな数値規制を模索する中で、量販店等で行き過ぎる対応にもつながった。厚生労働省は2月の薬事食品衛生審で食品中の放射性物質の新基準を了承した。これにより4月から従前の暫定規制値から4区分にわたっての新基準値でスタートを切った(表1)。

鯉節業界も例外ではなく、製品中の放射能検査対応、製造時の福島県産の薪に対する対応等、諸問題が湧出していく中、生産地では県と連携し取り組んでいった。

また昨年に引き続き原料問題は悩ましい課題となった。前述の放射能による風評被害は、近海で漁獲される魚に一時的に大きな影響を与え、結果、節の主な原料である東南アジア沖で漁獲した冷凍カツオにまで刺身用としての引き合いも生じてきた。これに近年、缶詰

放射性セシウムの暫定規制値※

単位:ベクレル/kg

食品群	規制値
飲料水	200
牛乳・乳製品	200
野菜類	500
穀類	
肉・卵・魚・その他	

※放射性ストロンチウムを含む規制値

(表1)放射性セシウムの新基準値※

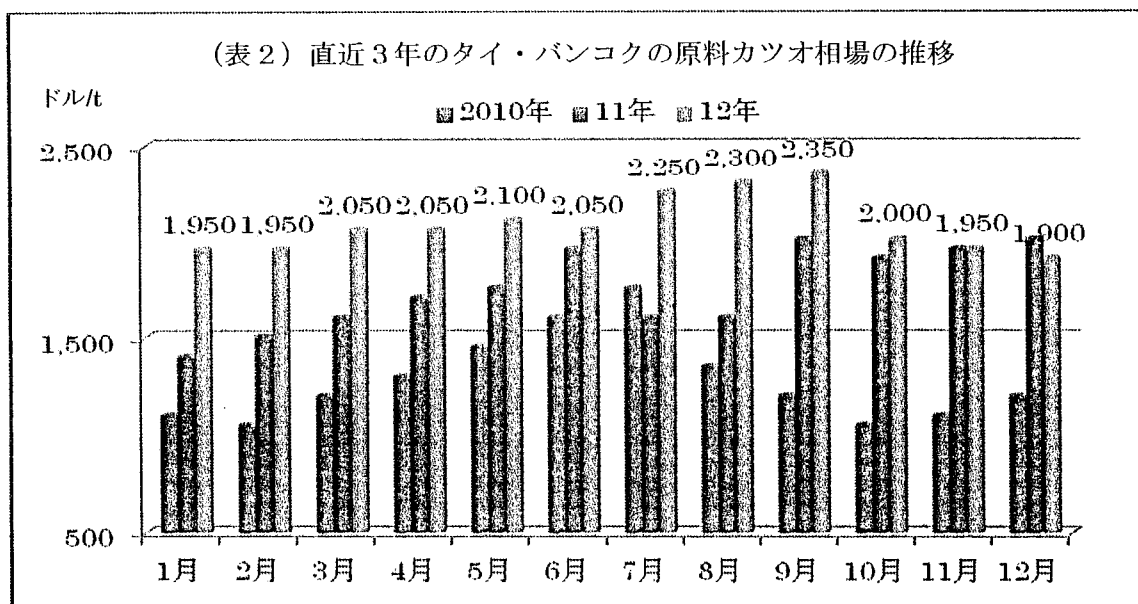
単位:ベクレル/kg

食品群	基準値
飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100
乳児用食料品	50

※放射性ストロンチウム、プルトニウムを含む基準値

原料としても重要な高まりもあり、カツオはタイ・バンコク市場において高水準で推移する国際商品となった（表2）。生産者にとって、この高騰する原料価格を製品価格に転嫁することは容易でない一方、節に適した原料カツオの確保という難題を抱えていた（注：節の原料として、どんなカツオでよいわけではない。脂肪分のあまり高くないものが適している）。こうした環境下の中で、産地では独自に船をチャーターし水揚げしていく等の節の安定供給に向けての対応をとっていった。

このほか、韓国で自国産鯉節において回収報道があった。これは、ベンゾピレンが規制値を超えて検出されたことを受けてのものであり、さらに10月には同原料を用いた即席めんの粉末スープに関し回収報道も出る等、わが国へも少なからず影響を与えた。



※月間平均値。2012年のみ数値を表示。

(日本鯉節協会の活動)

総務関連では、2月に水産庁による定期検査が東京の事務所で行われた。東京在住の役員立会いの下、事務所の健全な運営や事業活動等について細かな確認が行われた。近年、改善事項とされた事業費率の問題および内部留保に関しては、改善されているものとし、運営上の微細な点、資料整備等についての意見のやりとりを行った。

また、関係団体との連携の面では、3年振りに社団法人全国削節工業協会と役員懇談会を新大阪で開催。日鯉協側で三役を含む総務委員、全削協側は豊田会長をはじめ4名が出席した。この中で鯉節・削り節商品の安全・安心に関する検討、削り節の品質表示基準についての意見交換、共同運営を行った第7回食育推進全国大会についての報告等が行われた。

一方、公益法人の制度改革法案が施行され、早4年が過ぎ、平成25年11月末で移行期間が終わる。当会では、一般社団法人への移行で決議し、星野顧問を中心にして対応を検

討している。内閣府・担当課との相談等数回のやり取りを行う中で、新定款の作成と公益事業支出計画の策定を進めている。平成 25 年 2 月の総会後の申請を行う方針である。

広報・情報宣伝関連では、テレビ、雑誌等からの取材および資料提供を適宜行った。また、広告面では、例年のみならず新聞社「2012 年カツオグラフィア」、日本カツオ学会のフォーラム等で協力。前記、カツオグラフィアは漁業データ等もあり、全会員に送付した。このほかにも、全国鯉節類品評会の記事紙面、日表カレンダー等も制作して、会員に配布を行っている。

イベント関係では、6 月に食育推進全国大会（横浜）、8 月に子ども霞ヶ関見学デー、11 月に八王子市食育フェスタ、実りのフェスティバルに出展および協力した。食育大会は、4 回目の出展で、昨年より（社）全国削節工業協会との共同でのブース運営を行い、川下から川上まで一体感のある形で消費者アピールに繋がっている。また、八王子市食育フェスタには、削り体験コーナーに協力し、鯉節の提供、削り器の貸出を行った。実りのフェスティバルは、今回、東京ビッグサイトから日比谷公園内での開催となり、交通の便の良さから集客等について見込めるものの、野外等から天候に左右されること、会場の動線について、若干懸念されるべき点があがった。

なお、会員向け FAX 情報通信は、318 回を数えた。

流通改善関連では、4 年振りの開催となった第 19 回全国鯉節類品評会および第 14 回全国鯉節類業者大会に係る諸討議等を中心として活動した。

焼津組合主管として開催された品評会では、農林水産大臣賞に、(有)坂井商店（近海物鯉本節<山川>）、(有)竹内商店（鯉本節<土佐>）、前山達弘氏（南方物鯉荒本節<枕崎>）、(株)西村浅盛商店（鯉荒本節<枕崎>）、(株)鮫正水産（丸さば節<枕崎>）の 5 者が受賞。生産環境の厳しい中で、近年、出品数が減少してきているものの、意欲ある製品が揃い成功裡に終了することができた。

このほか、例年どおり土佐清水、山川、枕崎、安房地区、焼津の各地区で産地入札会が開催された。

技術研究関連では、鯉節安全委員会を中心に活動を行った。2 月には鯉節安全委員会の報告として、会員に対して PAH に関する周知・対応事項等情報提供を発信した。

## 総務部

- 1 月 28 日 全国鯉節類青年連絡協議会大会（於：枕崎）、山中会長出席（29 日まで）
- 2 月 3 日 理事会開催、第 38 期総会提出の議案書を審議、承認
  - 1 6 日 文科省・放射線審、食品中の放射性セシウムで新基準を答申
  - 2 4 日 厚労省・薬事食品衛生審、食品中の放射性物質新基準を了承
  - 2 5 日 第 38 期総会開催(於：静岡・クーポール会館)で全議案原案どおり承認可決。  
役員補選で武政嘉八氏が就任
- 3 月 2 日 水産庁、食品中の放射性物質の基準値設定と検査体制の強化打ち出す

- 9日 水産庁、日本鯉節協会に定期検査行う
- 13日 食品産業優良企業等表彰式—枕崎組合が団体として農林水産大臣賞を受賞  
—西村組合長が受賞者代表して謝辞
- 23日 平成24年度会費請求書発送
- 30日 第38期事業報告書を水産庁へ提出
- 4月24日 総務会を開催（於：東京）
- 26日 東京法務局で役員変更登記
- 5月11日 農水省、食品業界におけるコンプライアンス徹底で業界協力を要請
- 12日 日本カツオ学会、総会開催—和田先生が基調講演、山中会長出席
- 18日 水産庁へ役員変更報告
- 28日 全国削節工業協会総会（於：愛媛）に山中会長出席
- 31日 (社)海外まき網漁業協会総会を開催
- 7月24日 社団法人全国削節工業協会と役員懇談会（於：大阪）
- 12日 水産庁、食品中の放射性物質で、検査計画、出荷制限等、考え方を改正
- 7月5日 水産加工食品全国団体連絡協議会年次総会（於：強羅）に事務局出席
- 11月1日 農水省、平成24年水産加工流通統計に協力要請
- 12月5日 理事会を開催（於：焼津）、事業執行状況等確認

## 広報・情報宣伝部

- 2月10日 大阪、第61回全国水産加工たべもの展審査会開催—節類の農水大臣賞に  
大洋かつを鯛の「かつおぶし削りぶし細糸削り」が受賞
- 2月 高知県地場産物学習教材作成で協力—カツオクン、カツコチャンが使用
- 3月19日 雑誌「男のだいどこ」（2012春号）に協力
- 5月18日 NHK-BS「新日本風土記」で東京鯉節センタービルを取材・放映
- 5月27日 テレビ朝日「奇跡の地球物語」で田子節が紹介
- 6月16日 第7回食育推進全国大会—横浜で開催。2日間で3万6800人が来場する—  
日鯉協と全削協共同でPR（17日まで）
- 6月 がんセンター、EPA、DHAで肝がんリスク低下を発表
- 〃 情報誌「えがおで元気」に、鯉節の歴史に関し協力
- 7月 みなと新聞発行、2012年版カツオグラビアを全会員に送付
- 8月8日 農水省「子ども霞が関見学デー」開催。東京青年会の協力の下、鯉節削り  
体験コーナーを展開（9日まで）
- 10月15日 第2回カツオマイスター検定で協賛広告
- 10月26日 NHK-BS「新日本風土記」で枕崎駅および枕崎鯉節を取材・放映
- 11月9日 農林水産祭「実りのフェスティバル」に参加（10日まで）
- 10日 八王子食育フェスタに削り体験等で協力

12月 24年日表カレンダー制作、発送へ

## 流通改善部

- 1月 5日 第19回全国鯉節類品評会—会員への開催告知
- 3月23日 消費者庁食品表示一元化検、中間論点を整理
- 4月 1日 (財)日本農林漁業振興会へ、第19回全国鯉節類品評会の書類提出
- 4月12日 大日本水産会、水産物消費嗜好動向調査—魚介類にバラエティー性必要
- 13日 土佐宗田節産地入札即売会開催
- 8月 3日 消費者庁、食品表示一元化で最終報告をとりまとめ
- 8日 第19回全国鯉節類品評会、出品募集開始
- 8月27日 品評会事前検討会を開催
- 9月13日 さつま鯉節産地入札即売会開催(13日山川、14日枕崎)
- 3日 品評会および業者大会への参加告知
- 10月20日 安房地区加工連節類共販会開催
- 29日 品評会・実行委、最終打ち合わせ(於:焼津)
- 11月 8日 第19回全国鯉節類品評会開催(於:焼津、9日まで)—農水大臣賞に、坂井商店、竹内商店、前山達弘氏、西村浅盛商店、鮫正水産の5社(者)が受賞
- 11月 9日 焼津恵比寿講大入札会開催
- 12月 5日 第19回全国鯉節類品評会、反省会を開催
- 12月 農水省および日本農林漁業振興会に報告書を提出

## 技術研究部

- 2月17日 鯉節安全委員会を開催
- 3月30日 韓国でベンゾピレンの超過製品で回収報道
- 4月19日 農水省と意見交換—和田安全委員会委員長ほか
- 5月25日 鯉節安全委員会を開催
- 8月27日 鯉節安全委員会を開催
- 21日 大日本水産会、小規模加工業者向け衛生管理指導を実施
- 10月18日 農水省と意見交換—和田安全委員会委員長ほか
- 10月24日 韓国でベンゾピレンを要因に即席めん回収へ
- 11月12日 鯉節安全委員会を開催

## その他(会員および業界の動向)

- 1月21日 山川組合、元組合長・林喜造氏ご逝去
- 1月19日 第13回静岡県水産加工品総合品評会、榑山七の鯉本節が農水大臣賞を受賞
- 2月 4日 第4回「鯉節について語ろう会」開催

- 2月 8日 静岡県水産技研、かつお節生原料を電流で加熱する装置開発
- 3月 18日 山川組合・協和会、博多駅で削りパック等配布し、PR
- 24日 山川町漁協、節原料の安定確保へ、運搬性チャーターし初水揚
- 3月 枕崎組合、「枕崎鯉節」でグッズ作製—ボールペン、バッジ、ストラップ
- 〃 焼津市クラスター協、「焼津水産ブランド」認定で、ちきり清水商店(株)の“かつお糸削り血合抜き”を3つ星認定
- 4月 16日 ペットフード協会主催の水銀とセレンの講演会に参加—船木事務局
- 4月 19日 焼津市、薪の放射線量を測定—加工工場の安全性を確認
- 5月 29日 焼津鯉節伝統技術研鑽会、県水研センターで若手に実技指導
- 6月 3日 山川組合、山川みなと祭りで、“茶節”等振る舞いPRへ
- 7日 和歌山県知事、カツオの資源管理等で農水大臣に要望
- 21日 さつま鯉節協会、鹿児島県内の大学等に枯節を提供
- 25日 枕崎、地域 HACCP 認証を目指す—関係団体が参画し取組む
- 7月 4日 全水加工連、再生計画を承認—新たなスタートへ
- 26日 焼津組合、(株)マルハチ村松・村松善八会長ご逝去
- 7月 31日 みなと新聞、鹿児島県水産業特集で枕崎、山川を特集
- 7月 牛深漁港に新製氷施設を建設着工—一年内に完成予定
- 8月 7日 山川組合・協和会、老人福祉施設に茶節を贈る
- 17日 東京組合、(株)塩文商店・塩浦文吉会長ご逝去
- 24日 山川組合・協和会、「節の日」に、指宿駅で削りパックを配布しPR
- 9月 13日 枕崎組合、毎月24日を枕崎市「ふしの日」に制定を宣言
- 9月 15日 山川、新冷蔵庫竣工
- 10月 6日 日本カツオ学会、カツオフォーラムを開催（於：宮古島）—毎年、7月、8月、9月の“20日”を「カツオの日」に制定
- 13日 東京組合、(株)大和屋・外山信行会長ご逝去
- 11月 3日 第2回枕崎カツオマイスター検定を開催（4日まで）
- 16日 焼津組合、新嘗祭でかつお節を献上
- 24日 「いいふし」の日で、枕崎、山川でイベント開催—カツオ機能性成分に関する講演会（枕崎）、「山川鯉節祭り」で花かつおをふるまう
- 11月 ヤマキ(株)、水産庁の「魚の国のしあわせプロジェクト」に参画、かつお節広め隊に取り組み—カチュー湯等紹介
- 〃 東京組合、新小冊子「かつお節ってなに？」を制作
- 12月 さけ節の需要が広がる—北海道
- 12月 水産庁、“もうかる漁業”で海まき協会の「かつお枕崎地域プロジェクト」計画を承認—かつお節原料の安定供給と海外漁場の確保へ向け

(※太字は特記事項)

## 2. 会員の状況

	24.1.1現在会員数	増減	24.12.31.現在会員数
組合会員	16	—	16
一般会員	31	—	31
合 計	47	—	47

## 3. 会議の開催

開催日	名 称	議 題
2月 3日	理 事 会	第 38 期総会提出議案書を審議
2月25日	第 38 回総会	平成 23 年度事業報告および平成 24 年度事業計画
12月 5日	理 事 会	平成 24 年事業執行状況等確認